

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	安芸太田町立加計小学校	校長	萩原 英子	担当者名	田村 麗子
-----	-------------	----	-------	------	-------

取組事例名 『加計っ子まつり』

生徒指導に係る連携体制の確立	カウンセリング・マインドをもった教職員と児童生徒との対話	○	主体的な活動を通じた絆づくり
----------------	------------------------------	---	----------------

取組における育てたい資質・能力

○課題発見力 ○思考力 ○伝え合う力 ○耐える力 ○自己肯定感

取組のねらい

- ・いじめをなくすための行動についてみんなで考え，いじめのない加計小学校をつくる。
- ・異学年との交流の機会を持ち，同じ加計小学校の仲間としての絆を深める。
- ・校内で楽しく活動することを通して，学校生活の充実と規律意識の向上を図る。

取組の具体的内容

取組の創意工夫

「加計っ子まつり」の取組

- 1 児童会主催の「いじめストップ集会」 代表委員会で出た困っていることについてみんなで話し合い，各学年の「いじめをなくすための行動宣言」を考える。
- 2 各学年の学習を生かした出し物を楽しむ。

「加計っ子まつり」の導入として，児童会主催の「いじめストップ集会」を行うことで，お互いを大切にするこの大切さを確認し，みんなで楽しむおまつりにするという目的を共有した。



生活科で作った
手作りおもちゃで遊ぶ



総合的な学習の時間に
調べたことをクイズにして



3 縦割り班遊び



密を避けて，各学年の出し物を3つに分け活動する教室も分散させた。

縦割り班での遊びは，6年が下学年に遊びの希望を聞き，場所が重ならないように調整し行った。

取組の成果と課題

- 色々な行事が中止になる中で，集会，出し物，班遊びなど，児童が工夫を凝らし，主体的に活動して交流する良い機会となった。
- 事後，「いじめストップ集会」で考えた「学年の行動宣言」を受けて「各自の行動宣言」を考え，教室前に掲示した。意識して取り組んでいるという児童の割合は1月の振り返りで78%であった。
- 一方，「加計っ子まつり」全体の企画立案については，今年度が初めての活動だったこともあり，教師主導の部分が多かった。計画委員会を立ち上げるなど，児童が企画から参画し運営することで，さらに主体的な行事になると良い。